

障害児を産むのはエゴ出産。迷わず中絶を。

胎児に障害があると判った場合、90%が中絶し、10%は産むそうだ。これは90%の良識と10%のエゴ出産。

障害児を夫婦の力だけで育てられるはずはなく、アカの他人が払った血税の力によって育てていくことになる。それって助け合いとは言えない。

おせっかいな昭和のおばちゃんパーマが「人という文字は人と人が支え合っているんだよ」なんて言うが、間違いも甚だしい。文字は文字でしかなく、人間が置かれている状況を的確に説明できていない。

そもそも、助け合いなんものは存在しない。

助けられる側はいつ、どうやってお返しできるんですか？助けられる側は死ぬまで助けられっぱなしで、助ける側は死ぬまで助けっぱなしという構図。

障害児を産んで税金で育てる以上、国会または地方議会の承認を得ないと産んではいけないという法律が必要。

感傷論で考えるのではなく、歳入と歳出で考えるべき。歳入に貢献できない人間は歳費を使い込んではいけない。

~~~~~

産ませた飼い主は命を持てあまし、一日も早く、家から追い出す目的で里親さがしをし、「良い人にもらわれたから幸せになっているはず」と自己免責をしますが、もらい受ける側は誰しもが初めは、「一生、大切に大切に飼います」と言うのですが、最後まで飼えない人が後を絶ちません。

事実、行政処分場で震えながら処分を待ついのちは、一度は、飼い主に飼われたいのち。「もらわれていった家で幸せに暮らしている」という解釈は、産ませて、いのちを持て余して家から追い出した飼い主が、自己免責するための希望的観測に過ぎません。

福島市矢剣町11-3 星野節子024-563-7650  
繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ 産ませる人は殺す人  
ペット店から買う人も売る人も共犯者